

私たちNPO法人「ロシナンテス」の名前は、小説「ドン・キホーテ」に出てくるドン・キホーテが乗る痩せ馬のロシナンテに由来しています。「私たち一人一人は痩せ馬ロシナンテのように無力かもしれないが、ロシナンテが集まり、ロシナンテスになれば、きっと何かできるはずだ!」と考え、「ロシナンテス」と名付けました。今後もこれを信念として一歩一歩歩んで参ります。



ANNUAL REPORT

2019.4-2020.3

認定NPO法人 ロシナンテス 年次報告書

2019年度

認定NPO法人ロシナンテス

〒802-0082 福岡県北九州市小倉北区古船場町1-35 北九州市立商工貿易会館7F
TEL:093-521-6470 FAX:093-521-6471 ✉info@rocinantes.org

ロシナンテスとは

病院がない。医者がいない。

途上国には、厳しい現実がまだまだ存在します。

ロシナンテスは、そのような地域に暮らす人たちに医療を届ける活動を続けています。
医療施設のない村々を回って医療を提供し、国や地域と協力しながら診療所をつくり、
給水所の整備や学校建設、栄養改善など、包括的な保健事業を整備することで、
現地の人たちだけで医療を継続できる仕組みづくりをしています。

ひとはみんなの為に、
みんなはひとりの為に

VALUE

〈バリュー〉

活動理念

目の前で困っている人を助ける
家族の絆と地域の和を大切にする
ひとはみんなの為に、
みんなはひとりの為に

MISSION

〈ミッション〉

使命・役割

病院が無いなどの理由で、
必要な医療が受けられない地域に、
医療が届く仕組みを整備することで、
一人でも多くの命を救う。
そして、
誰もが健やかに生きることが
できる環境をつくる。

VISION

〈ビジョン〉

目指す将来像

支援した地域の人たちが、
「医療」を自分たちのものとし、
地域の人たちだけで
医療を継続できる
仕組みが根付いている世界。

ROCINANTES
ロシナンテス

新しい時代だからこそ 挑戦し続けたい。



ご挨拶

2019年、わが国では平成から令和へと時代の変遷となった年でしたが、スーダンでは30年もの間国政を司ったバシル大統領が、辞任を求める国民の声に耐え切れずに政権の座を降りるという歴史に残る年となりました。暫定政権ができるまでは混乱が生じ、安全を確保するために日本人スタッフを一時期引き上げましたが、現地にいるスタッフとの連携を強化し、事業を継続することができました。

混沌とする中でしたが、文民と軍人からなる暫定政権が誕生しました。過去の政権はイスラム教第一主義かつ男性中心でしたが、キリスト教徒、そして女性が二人も政権入するという従来にない

民主化が期待される形となりました。2022年に実施する選挙で新しい体制を樹立させることになっています。経済状況の悪化など負の要因はあるものの、治安は回復され、日本人スタッフは年度内にスーダンに帰任することができました。

必要な保健医療が受けられない地域に医療を継続できる仕組みを届けるため、またスーダンの政情が不安定で支援活動に支障をきたすこともあり、以前から他国への事業展開を考えていました。スーダンと同様医療に課題があり、治安が良いという点、さらに日本の団体あるいは医療人が活動しているという点から、アフリカ大陸の南半球に位置するザンビアを選定致しました。同国に

新たに事務所を構え、NGO登録を行い、現地のスタッフを雇用して、事業を開始することができました。

新型コロナの影響がアフリカにも及び、従来とは違った支援活動を考える時になっています。幸い、スーダン、ザンビアとのオンラインでの連携体制を築くことができ、遠隔で事業を行うことも検討しています。感染症という目に見えない敵と戦うことになり、国際協力は新たな局面となりますが、ロシナンテスは挑戦をし続けようと思います。前向きな姿勢になれるのもロシナンテスを応援してくださる皆様方のおかげであると心から感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

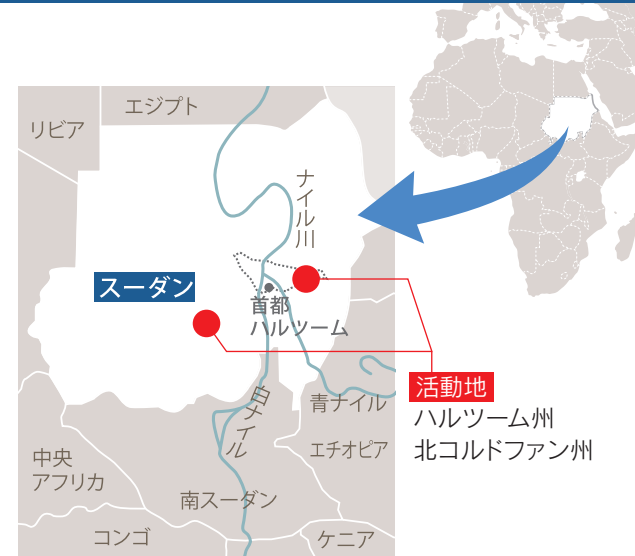
理事長 川原尚行

ロシナンテスの活動

「スーダン事業」

砂漠をこえて「医」を届ける。
地域に寄り添った15年目の活動。

スーダンの国土の大半は砂漠ですが、その広大な砂漠には、診療所も井戸もない村々が点在しています。こうした地域に医療や清潔な水を届けることで、人々の暮らしを改善していきます。



01 水事業「安全な水が命を救う。」

2018年12月～2019年5月に、北コルドファン州のオムサマ村にて新たな井戸の掘削と給水所の建設を行いました。給水所の完成に合わせて予定していた住民向けのヘルスプロモーションは、スーダンの情勢悪化の影響で遅延しましたが、8月に現地職員を中心に、パートナー団体SIDO、北コルドファン州の水省、JICA北コルドファン研修センター協力の下、実施することができました。

水衛生啓発活動

期 間	2019年8月21日～27日
地 域	スーダン共和国北コルドファン州オムダム・ハージ・アハメド地域オムサマ村
事業地	オムサマ村
対 象	オムサマ村住民800人
内 容	水委員会の形成、水・衛生・健康に関する啓発活動

1.水委員会の形成及び委員会メンバーへの研修

男女の割合がほぼ半ずつで構成された45人の委員会メンバーを対象に、以下の内容についての講義とグループワークを実施しました。

- ▶ 給水所の管理、メンテナンスのための基礎知識
- ▶ 給水所周辺や、家庭での良好な衛生環境を保つための知識
- ▶ 安全な水の供給と汚染についての知識
- ▶ コミュニティの健康に対する意識向上

2.啓発活動・清掃キャンペーン

住民約800人を対象に、安全な飲み水、衛生的な環境、水因性の病気についての説明と啓発を行いました。また、「清掃キャンペーン」と題して、子ども200名以上も交え、村内の市場や各家庭での清掃とごみ拾いの活動を実施しました。終了後の村は見違えるほど綺麗になり、清掃活動を通じて、人々が何気なく生活している環境について関心を持つきっかけを作ることができました。

今回の水事業を通して、安全な水の提供に加えて、村の人々の健康に対する意識の向上、そして村の衛生状態の改善に向けた自発的な活動促進を実現することができました。



「ハフィール」とは

河川のような表層水や、井戸などの地下水がない地域で利用される雨水貯水用池のこと。雨季の6月～9月に降る貴重な雨水を貯水し、残りの乾季に飲料水、生活用水として活用する仕組みです。(雨季は地域や年によって異なる。)

ハルツーム州において、2016年～2018年に3つの診療所を建設し、保健省に引き渡しました。しかし、そのうちのひとつ、ワッド・シュウエイ村の診療所では、「水」の安定供給に課題を抱え、診療所の運営にも支障をきたしていました。

この地域では、診療所付近にあるハフィールが主に利用されており、2つの課題を抱えています。

1つは水量です。毎年3月頃になるとハフィールの水が干上がり、周辺地域の給水車から6-7倍の価格の水を購入せざるを得ません。経済的な負担から、飲み水や生活用水を十分に確保できずに困っているという住民が多く存在します。

もう1つは水質です。住民はハフィールの水を自宅に持ち帰った後、煮沸などの処理を行わずにそのまま飲んでおり、結果的に慢性的な下痢など、水起因の病気に苦しんでいる人が後を絶たない状況にあります。これらの状況を踏まえ、既存のハフィールの改修を行うことで、水量確保と水質改善を実現させる予定です。加えて、地域の人々にハフィールの運営やメンテナンスのトレーニング、家庭での水処理に関する健康教育を行い、住民の健康に対する意識向上にも貢献していきます。将来的には清潔な水が診療所でも利用できる環境を整え、保健省、コミュニティの人々と共に診療所の運営を軌道に乗せることを目指します。

ハフィール改修

期 間	2020年1月～2021年6月 (2020年6月完成予定のところを延期)
地 域	スーダン共和国ハルツーム州 シャルガニール地域ワッドアブサーレ区
建設地	ワッド・シュウエイ村
対 象	建設地及びその近隣に居住する 住民2,000人、家畜8,000頭
内 容	ハフィールの改修及び住民への啓発活動
今 後	来年の乾季に本格的な改修に着手

事業延期のご報告

2019年12月より準備を開始した本事業は、当初改修工事を2020年5月に終え、啓発活動を6月に行う予定でしたが、世界的な新型コロナウイルス感染の影響を受け、2021年度に延期することを決定しました。

スーダン事務所のあるハルツームでは、2020年3月時点で既に感染者が出ており、ロシナンテス職員による都市部から地方への移動は、感染拡大のリスクとなり得るため、事業地へ訪問は自粛すべきだと判断しました。また、政府による外出制限措置やロックダウンにより、HAC(政府のNGO管轄組織)や関連省庁の業務が停滞したことも影響しています。

一日も早く状況が落ち着くことを願いつつ、事業実施に向けた下準備を進めて参ります。

02 その他 「新しい価値を生み出すために。」

サングラス配布

ライオンズクラブ国際協会332-C地区眼鏡リサイクルセンター様からご寄贈いただいたサングラス約2,000本を、国際NGO団体Albasar International Foundation様を通じてスーダンの白内障の患者さんに配布しました。白内障の患者さんは手術を行った後に、繊細な目をスーダンの強い光や紫外線、砂埃から守る必要があります、サングラスは大いに役立ちます。

ライオンズクラブ眼鏡リサイクルセンター様は、日本国内で不要となった眼鏡及びサングラスをリサイクル用に回収し、屈折度の計測とクリーニングを行った上で、海外の途上国で活動する奉仕団体に寄贈し、眼鏡・眼科医療を必要とする人々に供与する活動を行っています。

Albasar International Foundation様は、途上国において、失明や関連する病気の予防、制御のための活動を行っている

地球儀寄贈

2019年1月に川原が長崎県長崎市青潮学園(野母崎中学校)で講演を行いました。その後、講演を聞いた中学生たちが、スーダンのために役立ててほしいと自ら募金を集めてご寄付くださいました。中学生が一生懸命集めてくださったご寄付ですので、せっかくならばスーダンの子どもたちに直接届くものにしたいと考えました。

スーダンには、地図を読むことが苦手な人がたくさんいます。その一因は、子どもの頃から地図に触れる機会が少ないことにもあるのではないかと思います。また、村落部の子どもたちは「外国」や「異文化」と出会い、

団体で、今回サングラスの受け入れ及び配布を担っていただきました。

ハルツームでは、Makkah Eye Complexという眼科病院にて、ロシナンテス職員から患者さん一人一人へ直接サングラスをお渡しすることができました。

また、西ダルフル州と中央ダルフル州の州都では、アイキャンプ(眼科医が地方に出張し、村の患者さんへの眼科治療をまとめて行う場)にて、同じく白内障の患者さんへサングラスを配布しました。ダルフル紛争により多くの犠牲者が



出たことにより、今なお困難な状況に置かれているこれらの地域に、サングラス寄贈の活動を通じて関わることは、ロシナンテスとして貴重な経験であったと考えています。

サングラス配布

期 間	2019年10月～12月
地 域	ハルツーム州ハルツームMakkah Eye Complex(眼科病院)、西ダルフル州ジュナイナ(州都)及び中央ダルフル州ザリンゲイ(州都)でのアイキャンプ
対 象	白内障術後患者2,000人
内 容	白内障術後患者の目の保護用にサングラスを配布

意識する機会も多くありません。

そこで、世界の中でアフリカやスーダンがどこに位置しているのか、この贈り物くれた日本の中学生たちは一体どこに住んでいるのかということも伝えられる地図を寄贈することとしました。スーダンの学校は土壁も多く、ポスター状の地図を設置するのは困難なため、ビーチボールの地球儀を贈ることにしました。寄贈先は、今までに栄養改善事業、水事業を行った北コルドファン州オンムダム・ハージ・アハメド地域の小学校に決定しました。

2019年12月と2020年2月の北コルドファン州に訪問し、首都ハルツームで調達したアラビア語の地球儀を子どもたちに届けました。日本の中学生からの気持ちのこもった贈り物であることを伝え、子どもたちをはじめ、教員や地域の人々からも喜びと感謝の言葉が聞かれました。さらに、子どもたちは興味津々で地球儀を眺めていました。世界の広さやスーダンの外の世界や異文化に思いを馳せ、新たな何かを感じてもらえるきっかけになるといいなと思っています。

地球儀寄贈

期 間	2019年12月、2020年2月
地 域	北コルドファン州オンムダム・ハージ・アハメド地域 オンムサマーマ区
寄贈先	小学校3校(クラスに1つ)
対 象	在籍生徒1000人
内 容	長崎の中学生からのご寄付で購入した地球儀の寄贈



スーダン情勢

スーダンでは、2018年9月頃からガソリン等の燃料や主食のパンに使用する小麦が安定供給されず、銀行での現地通貨の引き出しが制限される状況が続いていました。2018年の年次報告書でもご報告していましたが、2018年12月にパンの値上げ等に対する抗議行動が地方から始まり、やがてバシール政権に対する抗議行動となり、それがスーダン全土に広がっていきました。職業団体の呼びかけによるストライキや、燃料不足、物価の高騰の影響もあり、抗議行動は数カ月に渡り継続されました。

2019年4月6日から首都ハルツームの軍本部前での座り込みが始まり、より多くの市民が抗議行動を続けました。2019年4月11日、30年続いたオマル・

アルバシール前大統領が解任となりました。国内の情勢が予測不能となり、ロシナンテスでは4月中旬に駐在員が日本に退避。状況が改善傾向にあると判断し、5月にはスーダンに再赴任しましたが、6月3日に発生した武力によるデモ隊の強制排除を受け、再度駐在員は日本へ退避せざるを得ない状況となりました。それに伴い、スーダン人スタッフのみで継続中の事業に限って活動を継続しました。10月に入り、情勢が安定しつつあるとの情報を得て、事業再開の判断を行うために川原と駐在員がスーダンへ出張しました。そこで駐在を再開して問題ないだろうと判断し、2020年1月に駐在員2名がスーダンに再赴任し、本格的に事業を再開することになりました。

2018.12.19	パンの値上げに対してリバーナイル州アトバラで抗議行動
2019.2.23	非常事態宣言の発令
2019.4.6	首都ハルツームの軍本部前で抗議のための座り込み開始
2019.4.11	オマル・アルバシール前大統領の解任
	非常事態宣言の発令
	暫定軍事評議会発足、アワード・イブンオーフ氏が議長に就任
2019.4.12	デモ隊の抗議によりイブンオーフ氏辞任
	アブドルファタハ・アルブルハン氏が議長に就任
2019.6.3	暫定軍事評議会の軍隊が武力行使により座り込みを強制排除(死者100名以上、負傷者数千人)
	その後インターネット通信を遮断
2019.6.30	民主化勢力による「100万人デモ」実施、暫定軍事評議会の武力行使なく終了
2019.7.3	暫定軍事評議会と民主化勢力の交渉が再開
2019.7.5	軍人5名、文民6名からなる新たな統治機構の樹立で最終合意
2019.8.17	暫定軍事評議会と自由・変革同盟が3年3カ月間の暫定政権で共同統治を行い、2022年に選挙を実施することで最終合意し、暫定憲法に調印
2019.8.21	新たな統治機構・最高評議会発足
	アブダッラー・ハムドク氏が首相に就任



スーダン・ザンビアにおける新型コロナウイルス(COVID-19)の状況

スーダンにおけるCOVID-19対策

スーダンで初めてCOVID-19の感染者が報告されたのは2020年3月12日でした。

2月下旬からハルツーム国際空港では検温や問診などの水際対策が取られていましたが、3月12日の感染報告の後、学校の閉鎖や宗教施設での礼拝の時間短縮などの措置が始まりました。3月16日には非常事態宣言が発令され、3月末まで貨物と支援物資を除き陸海空全ての国境が閉鎖されました。その後、3月26日と4月20日に閉鎖機関の延長が発表されました。

3月24日からは全土で夜間外出禁止令が発令され、3月26日には外出禁止時間の延長、4月18日からは、首都ハルツーム州において24時間の外出禁止令(ロックダウン)が発効となりました。

ザンビアにおけるCOVID-19対策

ザンビアで感染者が初めて確認されたのは3月18日。フランスから帰国した夫婦でした(計2例)。22日、3例目となるパキスタンからの帰国者の感染を確認。25日に行われたエドガー・ルング大統領の会見で、ザンビア国内で初の市中感染が発表されました。

3月25日の会見で、大統領はCOVID-19対策措置の強化を発表。外国からのウイルス流入予防のため、全ての国際便の発着をルサカ国際空港に限定し、渡航者に対し症状別に検疫措置を敷きました。

国内での感染拡大予防のため、レストランは持ち帰りや配達のための営業とし、特定の商業施設(バー、ナイトクラブ、映画館、ジム、カジノ)の閉鎖を指示した他、公共の集会の参加者を最大50名までに制限。この措置は3月26日からの14日間および、期間延長により合計28日間実施されました。予定された実施期間終了後の4月24日、大統領の会見で一部変更が発表されましたが、ほとんどが継続されています。

ロシナンテスの活動

[ザンビア事業]

母と子の未来を守る。
ザンビアで母子保健事業を開始。

ザンビアの村落部では、
診療所へ行くのに歩いて何時間もかかる村も多く、
出産には様々な危険が伴います。
事業を通して、安心して出産できる環境を整えます。



01 事務所開設

2019年6月に法人登録が完了し、正式にザンビアでの活動を開始しました。
首都であるルサカに事務所を構え、事務所から車で約2時間半の場所にある、
中央州チサンバ郡ムワブラ地域を事業地と決めました。

02 母子保健事業

SMAG研修

SMAGとは「Safe Motherhood Action Group」の頭文字を取ったもので、ザンビアの農村部において、保健に関するボランティアを行うグループを意味します。政府公認の有資格者で構成されており、5歳未満の乳幼児に対する検診をサポートしたり、妊産婦の産前・産後検診の受診を促したりと、地域を巡回し、

子どもの健康や安全なお産を促進する役割を担っています。

この研修では、コミュニティの中で立場の弱い女性への支援方法、妊産婦や赤ちゃんの危険な状態のサイン、妊娠中の健康問題の予防等について、政府から講師が派遣され、4日間にわたって講義が行われました。

今回の研修は、既に資格を持っているボランティアに対して行われ、知識の復習や新しい知識を身に付けてもらうことを狙いとしていました。研修の初日に実施した事前テストではあまり成績がふるわなかった参加者もありましたが、最終日には全員が基準を突破する成績を残すことができ、研修の成果を実感しました。また、活動の質とボランティアのモチベーションの向上に役立てるために、活動に必要な道具等も寄贈しました。

ロシナンテスでは、引き続きSMAGの活動のモニタリングを行い、村の中での母子保健活動の質の



SMAG研修

期 間	2020年3月
地 域	中央州チサンバ郡ムワブラ地域
対 象	既存のSMAG12名
内 容	群保健局と共同で村内のSMAGに対し、母子保健に関する補完研修を行う

向上を目指していきます。また、今後も研修の企画と運営を行い、この有資格のボランティアを村の中で増やしていくことを計画しています。



マザーシェルター建設準備

ムワブラ地域では、母子保健関連のデータはほとんど収集・整理されていませんでした。そのため、現状を把握し、活動の方針を検討するために、まずはサンプル調査を行いました。結果から16%の妊婦は自宅出産し、39%はムワブラ診療所、残りは他医療施設で分娩していることが分かりました。

ムワブラ診療所以外で出産する理由としては、診療所までの距離が遠く、交通手段の確保も難しいというのが最も多いです。「陣痛が始まった後徒歩で診療所へ向かい、途中で出産してしまった」というケースも珍しくありません。こうした状況为了避免するために、他の待機できる施設での出産を選択する人もいます。調査の結果、予定日間近の妊産婦が出産



まで或いは産後観察のために滞在することができるマザーシェルターのニーズが確認されました。

建設に向けて、当団体によって能力強化されたSMAG及び住民保健委員会と協議を重ねました。住民で構成される建設委員会が設置され、住民による砂・石の搬入が始まり、建設予定地が整地されつつあります。また、建築業者による図面作成、地方自治体の建設承認、建設業者による積算・入札作業が進行中です。

マザーシェルター建設準備

期 間	2019年10月～
地 域	中央州チサンバ郡ムワブラ地域
建設地	ムワブラ診療所横
対 象	ムワブラ地域の妊産婦及び5歳未満の子供 妊娠適齢女性：約1,230人
内 容	ベースライン調査、建設予定地の特定、建設委員会の設置等を実施
今 後	マザーシェルターの建設に着手しつつ、運営管理体制も確立させる

掲示板寄贈

2020年1月、ロシナンテスからムワブラ診療所へ、掲示板(縦1.2m×横2.0m、2枚)を寄贈しました。

ムワブラ診療所には、診療所で行われる活動のスケジュールや健康を守るための啓発ポスター等、様々な掲示物があります。それらは壁に直接貼られていたのですが、剥がれたり破れたりしていた見づらい状態でした。診療所の職員へのヒアリングから掲示板の需要があることが判り、ロシナンテスからの寄贈を決定しました。掲示板の寄贈は、ムワブラ地域におけるロシナンテスの知名度の向上も目的の一つです。掲示板に

ロシナンテスのロゴを貼り付けておくことで、事業を開始したばかりの私たちの存在を、診療所を訪れる住民に知ってもらうという狙いです。

掲示板の引き渡し当日、診療所職員や地域住民を代表する方々が集まりました。理事長の川原がロシナンテスの活動への協力に対するお礼や今後の事業の説明を述べると、診療所の代表であるムワンザ助産師から掲示板寄贈に対する感謝の言葉が送られました。川原がムワンザ助産師とともにロシナンテスのロゴシールを掲示板に貼り付け、笑顔で固い握手を交わしました。

事業立案に向けた勉強会

2019年7月、ロシナンテス東京事務所で、ザンビア事業立案に向けた勉強会を実施しました。当団体理事である高山義浩医師によるご協力のもと、カエベタ亜矢医師・林みずき看護師にゲスト講師としてご参加いただきました。当日は、講師のお二人からアフリカで医療活動や母子保健活動に携わられたご経験を伺った後、ロシナンテスで計画中の事業を中心に意見交換を行いました。計画中の事業については、住民の願いとの間に乖離はないか、ザンビアにおいて実現可能か、といったコメントを頂き議論し、事業の実現や効果の持続のためのヒントも頂きました。この勉強会で得た学びや気づきを活かしながら事業を計画・実施しています。



ロシナンテスの活動【日本国内】

01 駐在員報告会

日 程 2019年5月19日(日)/12月2日(月)/

2020年1月16日(木)

会 場 東京事務所

駐在員が帰国したタイミングに合わせて、駐在員報告会を開催しました。特に2019年度は、スーダンの政変により変化の激しい1年となったため、その時々最新の情勢や事業の状況についてご報告。なかなか日本では報道されないスーダンの変化について、ご関心をお寄せ下さる方に情報を届けられる場となりました。



東京事務所は毎回ばんばんに

02 アブディン氏との対談イベント

日 程 2019年7月17日(水)

会 場 スマートニュース株式会社イベントスペース(東京)

登壇者 モハメド・オマル・アブディン氏/川原尚行

理事長・川原尚行が、スーダンで生まれ育ち、日本で平和構築学を学んだモハメド・オマル・アブディン氏とともに、スーダンにおける政権崩壊について現地の状況と今後の展望をお話するイベントを開催しました。アブディンさんには、市民革命ともいわれる今回の政変がどのような経緯で起こったのか、内戦とならずに済んでいる要因は何なのかなど、過去の政変の歴史や他国との関係性も含めて解説いただき、かなり濃い1時間半となりました。



日頃から親交のある2人ですが、対談の形で話すのは初めて

03 貴船神社にて講演会

日 程 2019年7月28日(日)

会 場 貴船神社 境内(京都)

登壇者 貴船神社宮司・高井和大氏/川原尚行

2018年よりご支援いただいている貴船神社様のご厚意で、貴船神社境内にて講演会を行いました。元々5月5日に予定していた本講演ですが、スーダンの政情が不安定になり延期しての開催となりました。夏の夕暮れに、たくさんの七夕飾りに囲まれながら講演を行い、神社を訪れた方々がかわるがわる足を止めて聴いてくださいました。



初めての試み、紙芝居での講演



終了後、イベントボランティアの皆さまと

04 全国8か所で活動報告会

日 程 2019年8月28日(水)~10月18日(金)

会 場 神奈川県横浜市/宮城県名取市/愛知県名古屋
市/大阪府大阪市/福岡県福岡市/福岡県
北九州市/北海道札幌市/広島県広島市

30年実権を握ってきた大統領が4月に解任されたことで、スーダンは大きな転換点を迎えました。日頃ご支援いただいている皆さまに現地の状況と事業の進捗をお伝えすべく、理事長川原が、8月から10月にかけて全国8か所を回り、活動報告会を開催しました。



普段は100人規模の大きめの会場で行うことの多い活動報告会ですが、今年は少人数でじっくりお話をすることを優先して実施。普段より質問も多く出て、参加者お一人お一人と向き合える場となりました。

05 グローバルフェスタJAPAN2019出展

日 程 2019年9月28日(土)~29日(日)

会 場 お台場センタープラザ(東京)

開発途上国の現状や課題、日本のNPO/NGOや国際機関等の取り組みを紹介することで、多くの人に国際協力をもっと身近に感じてもらうことを目的に毎年秋に行われているイベント「グローバルフェスタJAPAN2019」にブース出展しました。初めてスーダンを知る方に親しみを持ってもらえるよう、クイズやスーダンの衣装などを用意し、体験していただきました。コンテンツはすべて東京事務所インターンの2人が作成してくれました。



06 水事業報告会

日 程 2020年1月23日(木)

会 場 カフェ プラディーポ(兵庫)

新しく着手予定のハフィール事業についてご説明する報告会を開催。ハフィールを手掛けるのは初めてであること、また目指す水

の質自体は国際基準には満たないことなどを踏まえ、現在の計画や今後の見通しなどを、これまで取り組んできた井戸の改修や掘削事業とともにご説明しました。

ご支援者さまが運営する素敵なカフェをお借りして、おいしいコーヒーとケーキをいただきながら、少人数でざくばらんにお話できる場となりました。



会場としてお借りしたカフェプラディーポ

07 ウェブサイトリニューアル

7月に、ウェブサイトをリニューアル。お手元のスマートフォンやタブレット等でも見やすくなりました。

▶ スマホ対応し、小さな画面でも見やすく、フォームの入力もしやすくなりました

▶ 法人ページや支援方法など、新しいページが増えました

▶ ブログのカテゴリーを分け、記事を探しやすくなりました



ご支援いただいた法人の皆さま

多くの皆さまの支えで、2019年度はスーダン、そして新たに事業を始めたザンビアにて活動を行うことができました。ご協力いただきました皆さまへ心から感謝申し上げます。

※五十音順・敬称略

【支援企業】

株式会社 ウエスト
エムスタイルジャパン株式会社
社会保険労務士法人大竹事務所
有限会社お菓子のリーフ
株式会社オレスコーポレーション
一般財団法人化学及血清療法研究所
税理士法人 神尾アンドパートナーズ
北九州ゾントクラブ
貴布禰総本宮貴船神社
グンゼラブアース倶楽部
サッポロフレンズ
医療法人社団佳有会 品川イーストクリニック
弁護士法人清水法律事務所
株式会社鈴木工務所
株式会社セキュリティサンクス
一般社団法人仙台市医師会
第7回アフリカ開発会議ポストフォーラムin熊本
タステック・レンタリース株式会社
株式会社田園興産
東京浜松町眼科クリニック

トップ保険サービス株式会社
医療法人社団撫子高松メディカルクリニック
有限会社NEADEC
直方工業株式会社
株式会社ハローデイ
株式会社FUKU
株式会社ブランカ
有限会社フーロー
貿易のColor合同会社
北海道通信ビル株式会社
公益財団法人 毎日新聞西部社会事業団
マルシン産業株式会社
株式会社安川電機
YASKAWA未来クラブ
弓皮ふ科
宗教法人 臨済宗妙心寺派
株式会社ワーキングハセガワ
有限会社ワークス
※10万円以上のご支援をいただいている
企業、団体の皆さまを掲載しております。

【サービス協力等】

カフェ ブラディーボ
サンビット株式会社
J.S.Foundation
株式会社 STYZ
スマートニュース株式会社
TMコミュニケーションサービス株式会社(お宝エイド)
つなぐ書店
北海道大学 消化器外科学教室I
株式会社セールスフォース・ドットコム
ソフトバンク株式会社
ライオンズクラブ332-C地区眼鏡リサイクルセンター

【助成金等】

風に立つライオン基金
SOCIALSHIP2019

ロシナンテスは皆様の継続的なご支援を求めています。

継続的
寄付

クレジットカード

1,000円から

ロシナンテスのホームページからお手続きください。

銀行口座自動振替

1,000円から

所定の申込用紙を送付させていただきますのでロシナンテスまでご連絡ください。

(毎月・毎年の定額寄付で長期的な活動ができます)

今回
のみ
寄付

クレジットカード

1,000円から

ロシナンテスのホームページからお手続きください。

郵便局

恐れ入りますが、払込手数料をご負担願います

郵便局備え付けの払込取扱票をご利用いただくか、下記の口座へお払い込みください。

口座記号:01720-3 口座番号:74330 店名:一七九
加入者名:NPO法人ロシナンテス

銀行口座振込

恐れ入りますが、払込手数料をご負担願います

金融機関:福岡銀行 三萩野支店(みはぎの) 預金種類:普通
口座番号:1733240 口座名義:特定非営利活動法人ロシナンテス

ご注意

郵便局もしくは銀行口座へ振り込みされる方で、「領収書」をご希望の場合は必要項目を電話、FAXまたはメールでお知らせください。 必要項目[①振り込み日 ②振込者情報(お名前、ご住所) ③振り込み金額]

ロシナンテスへのご寄付は、寄付金控除等の税の優遇措置を受けることができます。

例えば

個人で毎月1,000円クレジットカードで寄付した場合、総寄付額は、
1,000円×12か月=12,000円ですが、確定申告で税額控除の適用を
うけることで(12,000円-2,000円)×40%=4,000円が還付されるため、
実質年間ご負担額は、8,000円(=12,000円-4,000円)となります。

※これらを受けるためにはロシナンテス発行の「領収書」が必要です。

個人からのご寄付の場合

個人所得税の寄付金控除について

個人が各年において支出した認定NPO法人に対する寄付金で、その寄付額が2,000円を超える場合には、確定申告の際に所得税の寄付金控除として「税額控除」または「所得控除」のいずれかが選択適用できます。
※年間寄付額や所得税率などによって有利な選択が異なります。詳しくは税務署等にご確認ください。

寄付者《個人》

認定
NPO
法人

寄付金額-2,000円

寄付金控除
(所得控除または税額控除)

個人住民税(地方税)の寄付金控除について

寄付者がお住まいの都道府県または市区町村が条例で指定した認定NPO法人等に寄付した場合に適用されます。
※お住まいの都道府県または市区町村にご確認ください。

法人からのご寄付の場合

一般のNPO法人等に寄付した場合の「一般損金算入限度額」とは別枠の「特別損金算入限度額」が適用されます。なお、寄付総額が「特別損金算入限度額」を超える場合には、その超える部分の金額を「一般損金算入限度額」に算入することができます。

寄付者《法人》

認定
NPO
法人

一般の寄付金に係る損金算入限度額

+

認定NPO法人等に対する寄付金に係る損金算入限度額

遺贈をお考えの方へ

遺言によって、ご自身の財産の一部またはすべてを特定の個人や団体に与える遺贈。近年、認定NPO法人へ遺産を寄付したいと考える方が増えており、ロシナンテスもお問い合わせをいただくようになりました。

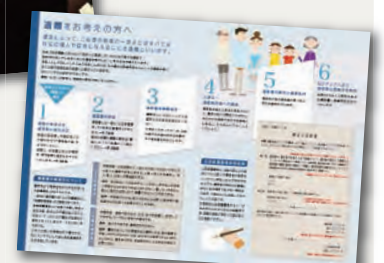
ロシナンテスでは「遺贈のご案内」(小冊子)をご用意しております。必要な手続きやよくある質問をまとめており、ご関心のある方に無料でお送りしています。
ご希望の方はロシナンテスまでお問い合わせください。

問合せ

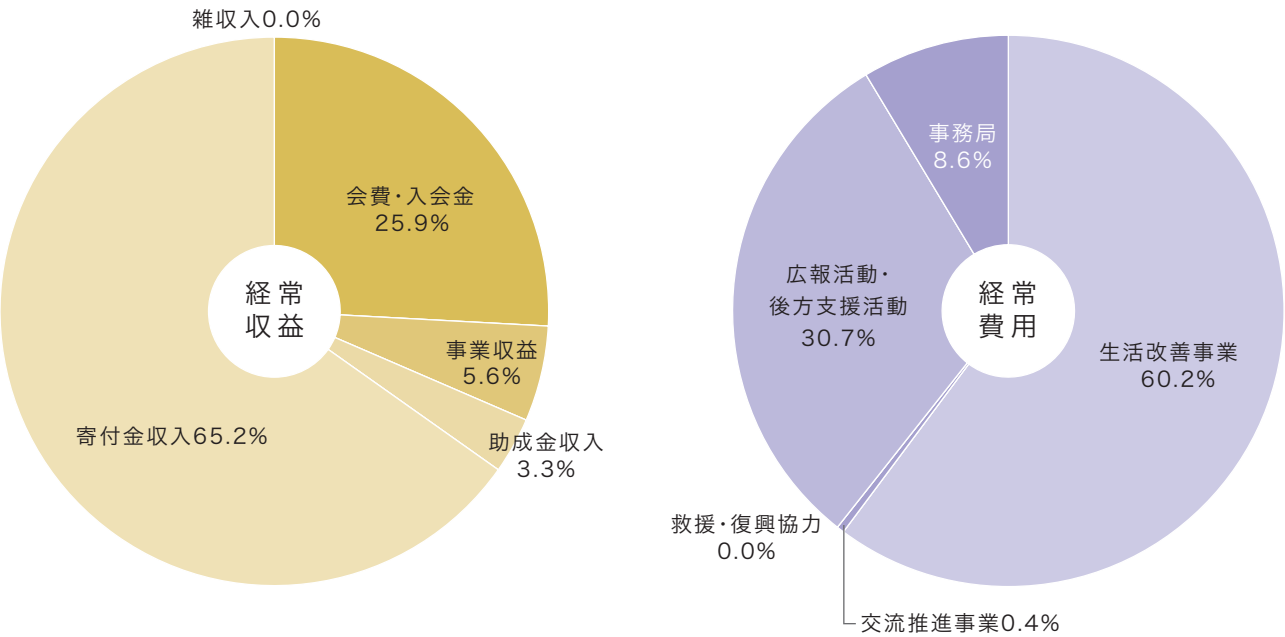
TEL:093-521-6470
(受付時間 平日10:00~17:00)
FAX:093-521-6471
✉info@rocinantes.org



故人様とご遺族の
やさしさを、
明日をつくる命へ。



[会 計 報 告]



活動計算書

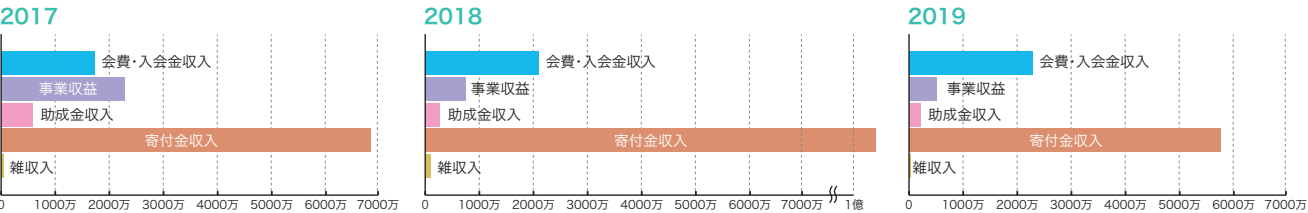
(単位:円)

経常収益	①会費・入会金収入	23,399,400
	②事業収益	5,096,180
	③助成金収入	3,000,000
	④寄付金収入	58,996,637
	⑤雑収入	5,860
	経常収益計(A)	90,498,077
経常費用	海外活動費	
	①生活改善事業(保健医療事業、水衛生事業)	65,169,291
	②交流推進事業(人材交流事業)	471,612
	国内活動費	
	③救援・復興協力事業	0
	④広報活動・後方支援活動	33,260,404
	⑤事務局	9,340,392
	経常費用計(B)	108,241,699
為替差損(C)		3,904,481
法人税(D)		151,000
当期正味財産増減額(A-B-C-D)		-21,799,103
前期繰越正味財産額		241,748,140
次期繰越正味財産額		219,949,037

収益推移

(単位:円)

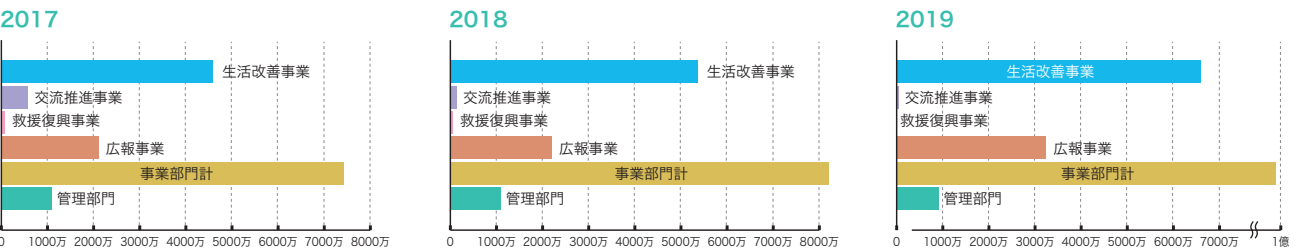
収 益	2 0 1 7	2 0 1 8	2 0 1 9
会費・入会金収入	17,912,438	21,228,384	23,399,400
事業収益	23,831,077	7,898,273	5,096,180
助成金収入	6,000,000	3,600,000	3,000,000
寄付金収入	68,312,834	141,272,333	58,996,637
雑収入	312,601	1,124,015	5,860
合 計	116,368,950	175,123,005	90,498,077



費用推移

(単位:円)

費 用	2 0 1 7	2 0 1 8	2 0 1 9
生活改善事業	46,024,310	53,656,596	65,169,291
交流推進事業	5,634,225	1,519,158	471,612
救援復興事業	99,605	88,882	0
広報事業	23,741,011	28,114,289	33,260,404
事業部門計	75,499,151	83,378,925	98,901,307
管理部門	10,476,860	10,466,866	9,340,392
合 計	85,976,011	93,845,791	108,241,699



正味財産推移

2018年度増減額	2018年度決算 正味財産額	2019年度増減額	2019年度決算 正味財産額
69,890,800	241,748,140	-21,799,103	219,949,037

〔 組 織 体 制 〕

役 員 一 覧

理 事 長	川 原 尚 行
副理事長	竹 中 賢 治

理 事	片 山 憲 一
理 事	高 山 義 浩

理 事	武 藤 義 博
理 事	海 原 六 郎
理 事	星 野 賢 一 郎

監 事	樋 上 弥 寿 子
監 事	神 尾 康 生

組 織 概 要

名 称	特定非営利活動法人ロシナンテス
略 称	認定NPO法人ロシナンテス
設 立	2005年10月(NPO法人設立 2006年5月)
所 在 地	〒802-0082 福岡県北九州市小倉北区古船場町1番35号 北九州市立商工貿易会館7階

2019年度 メディア紹介一覧

〈新 聞〉

■**朝日新聞**(4/12)「スーダン大統領、辞任 軍がクーデターか」川原理事長コメント■**毎日新聞**(5/30)6/9活動報告会告知■**朝日新聞**(6/6)「医療NPOが見た激変スーダン現地 ロシナンテス・川原さん 9日報告」6/9活動報告会告知■**西日本新聞**(6/7)「スーダン医療支援「今後も事業を推進」NPO川原さん講演」6/6の都内での講演■**毎日新聞**(6/11)「「スーダン現状知って」ロシナンテスが活動報告」6/9の活動報告会 ■**毎日新聞**(8/15)終戦の日特集 川原理事長インタビュー記事■**北海道通信日刊教育版**(10/11)「教育が前進する力育む スーダンで医療支援活動」川原理事長インタビュー記事、「“任せる”ことで成長 札幌で活動報告会開く」10/5の活動報告会■**読売新聞**(11/19)「来月、平和願う演奏会」12/1講演会告知
※以下中村哲先生追悼関係
■**読売新聞**(12/5)「声震わせ「しるべ失った」中村さん死亡 ロシナンテス理事長」■**日本経済新聞**(12/6)「中村さんの遺志継ぐ」■**毎日新聞**(12/6)「「残念」悲しみ広がる 中村さん銃撃死」■**朝日新聞**(12/7)「NGO 中村さんの遺志継ぐ 安全見極め「市民ができる支援を」」■**日本経済新聞**(20/1/10)「全アフガン潤す夢 志半ば」中村哲医師追悼記事 川原理事長コメント

〈テレビ〉

■**TNCテレビ西日本**(6/8)「福岡NEWSファイルCUBE」番組コメンテーターとして川原理事長出演・6/9活動報告会告知■**NHK北九州放送局**(6/10)「ニュースブリッジ北九州」ほか地域ニュース枠 6/9活動報告会の様子■**NHK広島放送局**(10/18)ニュース「坂町の小学生 助ける大切さ学ぶ」同日の広島県坂町立小屋浦小学校での特別授業■**KBC九州朝日放送**(11/29)「シリタカ!」同日の北九州市立血倉小学校での特別授業■**NHK北九州放送局**(11/29)「ニュース845北九州」同日の北九州市立血倉小学校での特別授業

〈雑誌・広報誌・書籍・その他〉

■**気生根 NO.58**／貴布禰総本宮 貴船神社「スーダンに井戸を!たくさんのご賛同に深謝」貴船神社境内でのロシナンテスへの募金活動のご案内、コラム「水を思ふ:命の水を届けたい」川原理事長による寄稿 ※貴船神社社報 ■**北九州ゾントクラブ会報誌 第25号**／北九州ゾントクラブ 同クラブの支援先として紹介■**国際開発ジャーナルNo.751**／株式会社国際開発ジャーナル社 コラム「解「国」新書:市民革命で独裁が終焉したスーダン」川原理事長による寄稿■**TOTO水環境基金 2018年度助成団体活動報告**／TOTO株式会社 助成団体として紹介■**協力隊を育てる会ニュース 第420号**／一般社団法人

協力隊を育てる会 「国際協力時評 次世代を育てろ!」川原理事長による寄稿■**まさしんぐWORLD Vol.257**／株式会社まさし 「高校生ボランティア・アワード2019シンポジウム さまざまな命の現場で考えること」パネリストとして川原理事長が登壇 ※さだまさしさんのファンクラブ会報誌■**関上復興だより 第57号**／一般社団法人ふらむ名取 9/8開催の関上での活動報告会の様子■**高校生ボランティア・アワード2019 大会報告サマリー**／公益財団法人風に立つライオン基金 「シンポジウム さまざまな命の現場で考えること」パネリストとして川原理事長が登壇■**第55回日本赤十字社医学会総会抄録集**／日本赤十字社 シンポジウム I 守るべきいのちと尊厳「スーダンの地域医療、デジタル母子手帳からの医療改革 ～真のアラブの春になるか～」川原理事長による講演の抄録■**気生根 NO.59**／貴布禰総本宮 貴船神社 「スーダンに井戸を!川原医師が講演」7/8に境内でおこなわれた講演の模様と貴船神社境内でのロシナンテスへの募金活動のご案内など ※貴船神社社報 ■**SPORTS of HEART 2019・SPORTS of HEART in OITA 2019 報告書**／一般社団法人スポーツ・オブ・ハート／東京都渋谷区および大分県大分市でのブース出展の模様を紹介■**ラグビーでの学びを生かし スーダンで医療活動に奮闘—川原尚行氏の志と突進力**／致知出版社

※2013年12月号の雑誌掲載分が10月にWeb媒体へ掲載■**『僕たちはヒーローになれなかった』葉田甲太 著**／株式会社あさ出版 川原理事長との出会いに一章を割く■**m3.com(医療従事者向けWebサイト)**／エムスリー株式会社 「中村先生の訃報、魂を失うような感じを覚えた」川原理事長が中村哲医師追悼文を寄稿■**岩波ジュニア新書『ボランティアをやりたい!高校生ボランティア・アワードに集まれ!さだまさし・風に立つライオン基金 編**／株式会社岩波書店 川原理事長が高校生に向けてのメッセージを寄稿■**ライオンズクラブ国際協会332-C地区 眼鏡リサイクルセンター活動報告**／ライオンズクラブ国際協会332-C地区(宮城県) 同クラブが用意した眼鏡・サングラス等の寄贈先として紹介■**I.B 2020年冬期特集号**／株式会社データ・マックス 「活動する場所は違えども先生のご遺志を継いでいきたいー」 中村哲医師追悼特集 川原理事長インタビュー記事■**九州医事新報社 第669号**／株式会社九州医事新報社 「医師たちが見た中村 哲医師」中村哲医師追悼特集 川原理事長コメント■**論座RONZA(Web媒体)** 「新型コロナウイルス。アフリカの現状と感染拡大リスク スーダン、ザンビアを中心に予防対策、感染リスクなどを考察する」川原理事長による寄稿

2019年度 講演会・イベント実績

〈講演会等〉

川原尚行 (4/28)福岡県インターアクトクラブ年次大会(福岡市) (6/4)第一生命保険株式会社 北九州総合支社(北九州市) (6/6)サンライズジャパン(東京都) (7/16)渋谷ビル経営者協会(東京都) (7/18)第74回日本消化器外科学会総会(東京都) (7/20)今治明德中学校・今治明德高校矢田分校(愛媛県) (7/28)貴船神社(京都府:貴布禰総本宮 貴船神社) (7/30)高校生ボランティア・アワード2019シンポジウム さまざまな命の現場で考えること(神奈川県:パネリストとして) (9/7)長瀬産業株式会社(東京都) (9/19)大分県立竹田高等学校(大分県) (10/15)明治大学(東京都) (10/17)第55回日本赤十字社医学会総会(広島県) (10/18)広島県坂町立小屋浦小学校 特別授業(広島県) (11/6)九州共立大学(北九州市) (11/23)北海道高等学校PTA連合会空知支部(北海道) (11/28)北九州市立大学 特別講義(北九州市) (11/29)北九州市立血倉小学校 特別授業(北九州市) (11/30)小倉ロータリークラブ創立70周年記念式典 記念講演(北九州市) (12/1)アフガンコンサート委員会チャリティコンサート(兵庫県:チャリティコンサート後に講演会)(12/26)九州大学医学科 特別講義(福岡市) (20/2/19) 長崎県立佐世保北中学校・佐世保北高等学校(長崎県) (20/2/20)水戸生涯学習センター特別講演会(茨城県)

小川和泉 (12/23)東京都町田市立鶴川第三小学校 特別授業(東京都)

立花香澄 (7/12)SOCIALSTAND 旅×ngo×スーダン～旅を通じてスーダンを知る～(東京都)

〈広報イベント〉

■(5/19)激動のスーダン、そしてロシナンテスの今(東京都新宿区:ロシナンテス東京事務所)■(6/9)スーダン情勢及び活動報告会(北九州市)■(7/17)スーダンで市民が成し遂げた政権崩壊とその後(東京都渋谷区: NPO法人スーダン障害者教育支援の会との共催イベント)■活動報告会2019(全国7か所で開催)8/28:神奈川県横浜市、9/8:宮城県名取市関上、9/12:愛知県名古屋、9/14:大阪府大阪市、9/17:福岡市、9/20:北九州市、10/5:北海道札幌市■「スポーツ・オブ・ハート」ブース出展9/28:東京(東京都渋谷区)、10/12・13:大分(大分県大分市)■(9/28-29)グローバルフェスタJAPAN2019(東京都江東区)■(10/18)ロシナンテス活動報告会 広島(広島県広島市 協力:川原尚行先生を応援する会 広島)■(12/2)スーダンってどんな国?駐在員報告会(東京都新宿区:ロシナンテス東京事務所)■(20/1/23)砂漠の地に水を届ける!水事業報告会(兵庫県芦屋市 協力:カフェ プラディーポ)■(20/1/16) スーダンにケンタッキー!?新スーダン報告会(東京都新宿区:ロシナンテス東京事務所)